

報道関係各位

一般社団法人  
田辺市熊野ツーリズムビューロー

第12回WTTC (World Travel and Tourism Council 世界旅行ツーリズム協議会)  
「明日へのツーリズム賞」(Tourism for Tomorrow Awards) について (結果)

先般、ご案内させていただきましたとおり、WTTCが主催する「明日へのツーリズム賞」の最終選考者(3団体)に田辺市熊野ツーリズムビューローがノミネートされておりました。

そして、現地審査を経て、4月17日(火)第12回WTTCグローバルサミットにおいて受賞者の発表が行なわれましたのでご報告いたします。

## 記

### 【表彰式】

- 日程： 平成24年4月17日(火) 20:30～  
※WTTCグローバルサミット開催概要は別紙参照
- 会場： グランドプリンスホテル新高輪「飛天」(東京)
- 受賞部門： 「明日へのツーリズム賞(デスティネーションの管理部門)」
- 受賞者： Destination Røros (ノルウェー)
- 最終選考者： 3団体
  - ・田辺市熊野ツーリズムビューロー(日本)
  - ・Destination Røros (ノルウェー)
  - ・Misool Eco Resort (インドネシア)

## ■「明日へのツーリズム賞」(Tourism for Tomorrow Awards) 概要：

「明日へのツーリズム賞」(Tourism for Tomorrow Awards) は、持続可能な成長を支えるための旅行及びツーリズム産業の取り組みを支援するもので、デスティネーションの管理、自然環境保護、地域貢献、グローバルビジネスの4部門において持続可能なツーリズムの発展に貢献している組織、団体が表彰される。

12名(各部門3名)で構成される独立した審査委員会により書類選考が行われ、各部門3団体ずつが最終選考者として選抜された後、現地審査により部門毎に受賞者が決定される。

過去に最終選考者としてノミネートされた団体のうち、日本の団体は田辺市熊野ツーリズムビューローが初めて。

## ■世界旅行ツーリズム協議会(WTTC) 概要：

世界のツーリズム関連企業の主要100社の経営者で構成され、国連の世界観光機関(UNWTO)と連携しながら、ツーリズム関連業界の発展を支える活動を行っている民間の非営利団体であり、観光に関する主要分野の民間企業を世界規模でカバーする唯一の機関である。

## ■世界旅行ツーリズム協議会(WTTC) グローバルサミット概要：

世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)が毎年各国の主要都市で開催している世界旅行産業会議。第1回開催は2001年、カナダ・バンクーバー。

国際機関、各国政府、国内外の経済団体やメディア等、約1000名が集う大規模な国際会議であり、規模の大きさと多様性から、「観光分野のダボス会議」と称されている。

第12回を迎える2012年の会議開催地に日本が立候補し、2010年9月に行われたAPEC観光大臣会合の際に、馬淵国土交通大臣より世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)に誘致を働きかけるなど、官民挙げた誘致活動を展開した結果、日本の東京及び仙台での開催が正式に決定した。

## ■田辺市熊野ツーリズムビューローの論文概要：

- 1) 和歌山県田辺市、世界遺産熊野古道の概要紹介
  - 2) 田辺市熊野ツーリズムビューロー設立の経緯、理念について
  - 3) 和歌山県田辺市の世界遺産・熊野古道とその歴史・文化の紹介(田辺市熊野ツーリズムビューローが共同プロモーションを行っているスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラ市観光局との活動にも言及)
  - 4) 田辺市熊野ツーリズムビューローのインバウンドの取り組み、現地レベルアップ事業、旅行事業、持続可能な観光地の推進について
- 以上について、2000ワード(英単語)の論文を提出した。

田辺市熊野ツーリズムビューロー 電話：0739-26-9025 担当：ブラッド、竹本、古久保
--